

第12回森町総合計画審議会議事概要（未定稿）

日 時：平成18年12月5日（火）午後2時～3時5分

場 所：町民生活センター 集会室

出席委員：鈴木奉会長、友田和副会長、太田委員、榊原委員、岩附委員、打田委員、大場たつ子氏（鈴木晃委員（農業委員会会長）の代理）、奥宮委員、小倉委員、小野委員、川口委員、鈴木光委員、鈴木よ委員、友田委員、原田委員、松井委員、村松委員

事務局：町長、助役、深見課長、杉山課長補佐、長野係長、福島主事、静岡総研（石井主任研究員）

1 開 会

2 会長挨拶

3 議 事

（1）森町総合計画基本計画（答申素案）等について

<資料に基づき事務局説明>

<意見・質疑応答等>

会 長： それでは、今説明があったように、諮問のあった基本計画案を前회のご議論を踏まえて再整理したものである。いろいろと工夫がされ、修正がされているという感じであるが、ぜひ、委員の皆さん同士でも、意見交換をしながらまとめていきたいと思うので、よろしくお願ひしたいと思う。

この基本計画案について、ご質問やご意見等があったら、出していただきたいと思う。

————— 2 分 経 過 —————

会 長： 資料3の中で、説明が若干あったが、前回の委員の皆さんからあったご意見等について、その対応したものがまとめてあるが、この辺も確認してもらいながら、ご意見を出していただければと思う。

————— 1 分 経 過 —————

会 長： この資料2にある「協働について」の「例えば、太田川の美化」ということであるが、こういうものが分かりやすくてよいのではないかと思う。

————— 2 分 経 過 —————

会 長： もう、出尽くしたという感じか。

委 員： 前回、議論があったかなかったか、ちょっと記憶にないが、基本計画の体系図の中に、「ええら森町への協創曲」の中の第4楽章の「にぎわい ふれあい みんなで再盛」の「再盛」が再び盛り上げるの「再盛」であるが、この辺の意図はどういうことなのか、確認したいと思う。

事務局： 第4楽章の題名ということだと思うが、普通の「再生」ではなく、「みんなですべて再び盛り上げていこう」という意図を込めて、「生まれる」の方ではなく、「盛り上げる」という漢字をあえて使っている。まちなかの振興をやるときは、やはり、みんなで盛り上げるということが一番大切であり、ポイントかなあという意味合いも込めて、「再び盛り上げる」という漢字を使わせていただいているところである。

委 員： まあ、分かるが、この辺がちょっと…、皆さん、他に意見があれば…。この辺がぴったりくるのか、どうなのかなという感じが改めてしたので…

会 長： どうでしょうか。委員の皆さんから、このことでも良いし、他のことでも良いが、意見があれば…

委 員： 違うところでもよいか。

会 長： 結構である。

委 員： これも表現の仕方であるが、序論の1ページ、「新しい森町のために」第1段落の下2行、「現代社会の快適さ、利便性を保ちつつ、豊かな自然環境の中での生活を過ごすことのできるまちとして今日に至っています。」となっているが、この表現であるが、どちらかというところ、「豊かな自然環境を保ちつつ、現代社会の快適さ、利便性の中で生活ができる」という方がわかりやすいのではないかと思う。

会 長： もう一度お願いします。

委員：「豊かな自然環境を保ちつつ」が先にきて、「現代社会の快適さ、利便性」を次に持っているという感じで、そのつなげ方は考えなくてはいけないが、その順番が逆の方がいいのではないか。何か意図があるのか・・・

事務局：特に意図はない。委員がおっしゃるように、大きさからいうと、確かに豊かな自然環境の方が大きく、周りにあって、その中で社会生活があるといった順番の方がわかりやすいかなという感じがするので、つなぎ方の問題はあがるが、そんな順番で整理したいと思う。おっしゃった順番の方がすっきりするという感じはするので、そういった形で整理したいと思う。

会長：先ほど委員が言われたところは何ページであったか。

委員：「ええら森町への協創曲」のところ、第4楽章のところの「にぎわい ふれあい みんなで再盛」の再び盛り上げるということで「再盛」を使っているが、意図は先ほどの説明のようであったが…

委員：今の言葉の件であるが、初め、僕もこれを読ませていただいた時に、ええら森町への「協創曲」も、今おっしゃった「にぎわい ふれあい みんなで再盛」の「再盛」もあれっと思いつつ、自分なりに事務局が言ったような意味合いがあるのではないかなと思いつつ、あえてこういう字を使ったんだなと思いつつ、この漢字でも良いのかなという感じをもった。間違っているかも知れないが、自分としては良いと思う。

————— 1 分 経 過 —————

会長：他にいかがか。

————— 1 分 経 過 —————

委員：基本計画の2ページ、一番下のところであるが、「自然・歴史・文化を関係機関と連携し観光面での活用促進を図ります」この表現がわかりにくいと思うが、自然・歴史・文化という3つを頭にもってきているということでそろえたのかもしれないが、「関係機関と連携し、自然・歴史・文化の観光面での活用促進を図ります」とした方が文章としては、良いのではないかと思う。

事務局：「自然・歴史・文化を」が離れているということで、「関係機関と連携し、自然・歴史・文化の観光面での活用促進を図ります」ということで、それでご了承いただければ、よろしいかなと思う。

会 長： 事務局、もう一度お願いできるか

事務局： すいません。再度見直したが、最初に「関係機関と連携し」とすると、何の関係機関か多少わからないといったところがあるので、そののところ、今のご指摘を踏まえて、再整理させていただきたいと思う。委員のご指摘は、「関係機関と連携し、自然・歴史・文化の観光面での活用促進を図る」ということだったと思うが、一番頭に関係機関とくると何の関係機関かなという疑問があるので、ご指摘を踏まえて、わかりやすく再整理したいと思う。

会 長： 再度、検討するというところでお願いします。

委 員： 同じく基本計画総論の、9ページ、3.「交流と広域的な連携の推進」(2)近隣市町との連携の強化のところ、「消防・衛生・福祉等に関わる分野で…」となっているが、この「衛生」には病院も含まれるのか。

事務局： ここについては、その後をみると、消防・衛生・福祉等に関わる分野で展開している周辺市町との共同事業について、現在、展開している事実があるものとして、ということであるので、ここは特に、一部事務組合とかとそういったものを想定しているので、衛生になると、ゴミ処理やし尿処理等になると思う。当然、病院についても、病院同士の連携とかも図っているわけであるが、ここについては、一部事務組合の共同事業ということで整理させていただいている。

委 員： そうすると、病院については、これから連携、機能分担を強めていくといったようなことを入れた方が良いのではないかと思うが。

事務局： 病院については、15ページに「地域医療体制の充実」のところ、「町内診療所や周辺病院などとの連携を強化し、地域医療体制の充実を図ります。」また、「中東遠地域における各医療機関がもっている機能を踏まえながら、役割分担と相互連携を進める…」といったところで、各論の方で整理しているので、ここについては、一部事務組合のような組合議会をもっているものなど、そういった中で広域で連携・共同している部分というか、行政同士の中での位置づけが現在あるものについて、整理していければと思っている。

委 員： 病院の連携については、これから大きな、重要な問題になると思うので、こちらの総論の方でも、取り上げた方がよいと思う。

事務局： 検討はさせていただくが、今お答えしたように、一つには現在も実施している事業をしっかりとやっていく、更に連携を強化していくといった整理で考えているので、多少ちょっと、座りが悪いかなどというような気がしないでもない。また、十分に各論の方で整理されているところがあるのかなというのと、もう一つは、病院について、私が知り得ている情報では、病院同士の連携というのはあるが、ここに位置づけると、逆に不安を与えるのかなという気もする。要は、「袋井と掛川の病院が一緒になるような検討も始めましたよ」というような中で、位置づけると多少、町民にとって不安なところもあるのかなということと、その方向性というのが、自分が把握している中では、はっきりしていないところもあるので、多少位置づけづらいかなというところが正直なところである。検討はさせていただくが、今の段階では、各論のところには病院のことがあるので、そこを讀んでもらった方が良いのかなと思う。

委員： 袋井市、磐田市で2回、地域医療についての講演会、あるいはシンポジウムがあったわけだが、そこでも、国の政策によると、これからは地域医療は、連携と機能分担が必ず必要になってくる。というようなお話でこれから10年の総合計画であるので、少し先を、なかなか断定はできないと思うが、こういう方向にというものを示していくほうが良いのではないかと思う。なかなか今の段階で、それをはっきり打ち出すというのは難しいかもしれないが、やっぱり病院の問題は、大きな問題として取り扱うべきであると思うので、どこの項目に載せるかは別として、総論の中で一つとしてとして取り上げた方が良いのではないかと思う。

事務局： ご意見を踏まえて、検討させていただきたいと思う。

会長： 幹部の方々ともよく相談して、検討させていただきたいと思う。

————— 2 分 経 過 —————

事務局： 再度、きちんと整理をするが、病院の話であるが、案として9ページ、「消防・衛生」その後に「医療・福祉等に関わる分野に…」ということで、現在、医療分野でも看護部門で連携している部分があるので、それも含めて、「消防・衛生・医療・福祉等に関わる分野において…」といった形で病院も含めた医療のことについて位置づけてはどうかなと思う。今の段階ではそう考えている。

会 長： 委員としては、病院ということであったが、今の段階では医療ということで、この辺については、将来的なことであり、大事なことでもあるので、よく検討していただきたいと思う。

————— 1 分 経 過 —————

会 長： 協働まちづくり委員会の方でも、いろいろと検討されてきたが、最終的に答申というところまでできているわけであるが、是非、ご意見があったらお願いしたい。

委 員： 実は、今日の審議会を終えて、8日に委員の方々に集まっていたいて、今日の話を出して、だいたい今こういう状況だよというような報告と、いろんな意見をいただきたいと考えている。実際にはもう我々が協働まちづくり委員会の中で話をして、まとめてきて、提案したことは、ほとんど網羅されてきていると思う。あとは、我々がいかに一つの核となって動いていくかということが大切だということを、各自が認識をするような時間を設けようかなと思っている。それと、協働について、もう少し目で見てわかるようにということであったが、参考資料の2ということで、品質管理なんかもそうであるが、ディミングサークルといって、プラン、ドゥ、チェック、アクションということで回していきながら、品質管理、精度を高めていくということがあるが、協働の進め方の例を見ると、プラン、ドゥ、チェック、アクションという流れが書かれているので、非常に見やすくなっているのかなと思う。一般の人が見て分かりやすいように、若干手を加える必要もあると思うが、大変うまくまとめていただいていると思う。一般の人が見てもはるかに分かりやすくなってきていると思う。

委 員： 協働まちづくり委員でもあるので、ちょっと感想を述べさせていただいてもよろしいか

会 長： はい、どうぞ。

委 員： 私ども、協働まちづくり委員でもって、がやがやとやってきたが、本当によくまとめられていると思う。先ほどの第4楽章のまちづくりの「みんなで再盛」というところも、全国的な傾向であって、これは非常に大切な言葉だと思う。皆さん、審議会の皆さんで、私たちが提案したことが、きれいにまとめられていて、うれしく思う。

委員： この前、どなたか委員の方で、各論のそれぞれの部分で、主要事業があるが、その主要事業が、事業としてなじむのかどうかというような質問もあったと思うが、その点については、事務局の方で検討されて、ここはこうしたということがあればお願いしたいが。

事務局： それについては、資料3をご覧になっていただきたいと思う。その資料3の1枚目、「基本計画全体について」というところの「主要事業について」というところが、今ご指摘のあった点だと思う。中には、例えば「社協との連携」などは手段であって、事業ではないんじゃないかというようなご意見だったと思うが、これについては、主要事業は基本的には町事業であるが、国・県・関係機関、団体との連携も記載している。これらは、具体的な事業ではないが、今後、必要となる取組として位置づけている。主旨として、各事業について、「目的－手段」という関係で見ると、位置づけにはばらつきがあるとは思われるが、しかしながら、取り組んでいく際、キーとなる取組となるという位置づけで手段的なものも位置づけてあるというところである。そういうことを踏まえると、何とか事業というものもある訳であるが、町民への分かりやすさという点からも考えると、かえってこういったものも、一緒になってやっていくんだな、これが大事になってきているんだなというところを表現している部分でもあるので、あえて何とか事業というような形で統一していないところである。手段的なものが書かれているものは、逆に協働の意識というか、そういう意識で取り組んでいくものが多く含まれているので、そういった意味では、事業的ではないが、主要な取組といった形で、主要事業の中で整理させていただいているということをご理解いただければと思う。

————— 3 分 経 過 —————

会長： 特に無いようでしたら…、後ほど事務局の方から連絡があると思うが、1月の半ばから、2月の中旬にかけて、各地区6箇所、「町長と語る会」をやって、総合計画の内容について、説明をしながら意見を聞くというような計画をされているようだが、その中で、いろいろな意見があると思うが、場合によっては、多少の付け加えなりというようなことがあると思うが、そういうものを次の回に、皆さんにご検討していただいて、答申というような形にしたいと思う。特に無いようでしたら、そのようにしていきたいと思うがいかがか。

会 長： はい、それではご意見もないようなのでこれで終わりたいと思う。ただ今、いろいろとご意見があったが、中身については、事務局の方でよく検討していただいて、訂正できるところはしていただいて、また説明していただくという形になると思う。(1)については、以上とさせていただきます。

(2) その他について

事務局： 今後の予定であるが、「町長と語る会」ということで、今ご審議されている内容について、それとともに、「協働とは」ということも含めて、町内旧村単位6地区にご説明にまわりたいと考えている。日程については、ほぼ確定はしているが、調整中ということで、口頭で申し上げると、三倉地区が1月22日(月)19:00～三倉総合センター、天方地区が1月23日(火)19:00～天方生活改善センター、森地区が1月24日(水)19:00～森町文化会館(小ホール)、一宮地区が1月30日(火)19:00～一宮総合センター、園田地区が1月31日(水)19:00～園田防災センター、飯田地区が2月1日(木)19:00～飯田防災センターということで、現在の案であるが、実施していきたいと思っている。この内容については、12月15日に回覧を予定している。それとともに、審議会委員の皆様にも、お知らせしていきたいと思う。これらを踏まえて、今後、日程調整させていただくが、2月中下旬に審議会を開催させていただいて、答申へといった段取りで進めさせていただければと思う。「町長と語る会」の状況にもよるが、こんな感じで進めていければと考えているので、よろしくをお願いしたい。

4 閉 会

(以上)